

4. 本時の目標

・位の大きさや数の特徴に注目して仲間づくりを考え、数の特徴を理解し、表現することができる。

5. 本時の展開

子どもの意識の流れ	学習活動	教師の働きかけと評価 (口)
<p>●100 までの数について学習してきたよ。</p>		
<p>問題：なかまあつめゲームをしましょう。</p>		
<p>●友だちの数は何だろう。みんな違う数だね。 ●似ているな。近い数だな。 ●私の方が、数が大きいな。 ●十の位（一の位）が一緒だね。 ●ほかにも仲間が見つけれそうだな。</p>	<p>・めあてを共有する。</p>	<p>・100 までの異なる数が書かれた 35 枚のカードを、一人一枚配る。配られたカードの数から、仲間を見つけて集まる学習課題であることをつかませる。</p> <p>・友だちとカードの数を確かめようとする子どもたちの、仲間集めにつながる気づきを拾うことで、数の仲間を集められることに気づかせ、めあてにつなげる。</p> <p>・集まり方を一人で考える。集まり方の見通しを共有する。</p>
<p>めあて：なかまをかんがえて あつまろう。</p>		
<p>●どんな仲間が見つかりそうかな。 ●十の位が同じ仲間が集まろう。 ●一の位が同じ仲間が集まろう。</p>	<p>・仲間の見つけ方を考え、見通しを持つ。</p>	
<p>●同じ仲間だよ。こっちに来て。 ●ここここ(グループ)は、合わせられるね。 ●十の位（一の位）が同じ仲間が集まりました。</p>	<p>・仲間を見つけて集まる。</p>	<p>・声をかけて誘う（誘われた場合も、自分で判断して参加する）ように促す。</p> <p>・どうして同じ仲間と思ったかをもとに、集まった数の特徴を考えさせる。</p>
<p>●この数が仲間に入るのに悩んでいるよ。この数は、どこの仲間に入りそうかな。 ●ここに入れるよ。ここにも入れるよ。 ●同じ数でも、見方を変えると違う仲間に入るんだね。 ●ほかの集まり方もできそうだな。もう 1 回やってみよう。</p>	<p>・集まった数の特徴を考える。</p> <p>・数がどの集まりに入るか、考える。 「捉えなおし」</p>	<p>・捉えなおしの発問「この数は、どの仲間に入れるでしょうか。」</p> <p>・子どもが見つけた仲間集めの基準を板書で整理する。</p>
<p>●この数が仲間に入るのに悩んでいるよ。この数は、どこの仲間に入りそうかな。 ●ここに入れるよ。ここにも入れるよ。 ●同じ数でも、見方を変えると違う仲間に入るんだね。 ●ほかの集まり方もできそうだな。もう 1 回やってみよう。</p>	<p>・カードを回収し、別のカードの組み合わせで繰り返し仲間集めゲームを行う。</p>	<p>・新しいカードでもう一度ゲームを行い、集まった後にどのように集まったか聞く。板書する。これを繰り返す。</p>
<p>●何十の仲間が集まりました。 ●5 ずつ数える仲間です。 ●31, 32, 33…39 までが並ぶ仲間です。 ●一の位が 7 の仲間です。 ●11, 22, 33…99, 同じ数が並ぶ数の仲間です。 ●いろいろな数の仲間が集まれるね。もっとやってみようよ。</p>		
<p>まとめ：①位の数を見たり、数の特徴をいかして、②いろいろな仲間の作り方ができる。</p>		
<p>練習：数の仲間分けをしましょう。</p>		
<p>●私の数は、～の仲間と、～の仲間に入ったよ。</p>	<p>・ノートに数の仲間分けを書く。</p>	<p>・「見通し」、「捉えなおし」から、児童の言葉でまとめる。</p>
<p>●ほかの仲間の作り方も考えてみたいな。</p>	<p>・振り返り。</p>	
<p>評価：</p> <p>◎数の仲間を複数表現し、ほかの表し方を工夫して考えている。</p> <p>○数の仲間を複数表現できる。</p> <p>△数の仲間を 1 つしか表現できない。</p>		